

義認

義認について、次のアウトラインで学びます。

1. 「義認」に関連する5つのギリシヤ語が使われている箇所
 2. 「義認」の中心的な意味は「無罪宣告」、それに連なって5つの意味を持つ
 3. 「義認」はどのようにして起きるのか 7つ
 4. 「義認」は信者にどのような結果をもたらすのか 7つ
-
1. 「義認」に関連する5つのギリシヤ語が使われている箇所をみましょう
 - (1) ディカイオス 正しい・・・ロマ5:19「ひとりの従順によって多くの人が義人とされるのです。」
 - (2) ディカイオスネー 正しいこと
 - ① ロマ5:21「恵みが、私たちの主イエス・キリストにより、義の賜物によって支配し、永遠のいのちを得させるためなのです」
 - ② ロマ9:30~32「義を追い求めなかった異邦人は義を得ました。すなわち、信仰の義です。しかし、イスラエルは、義の律法を追い求めながら、義の律法に到達しませんでした。なぜでしょうか。信仰の（義）ではなく、律法の行いによるかのように追い求めたからです」
 - (3) ディカイオー 正しいとする
 - ① マタ12:37「あなたが正しいとされるのは、あなたのことばによるのであり、罪に定められるのも、あなたのことばによるのです」
 - ② 使13:39「モーセの律法によっては解放されることのできなかつたすべての点について、信じる者はみな、この方によって、解放されるのです」
 - ③ ロマ2:13「それは、律法を聞く者が神の前に正しいのではなく、律法を行う者が正しいと認められるからです」
 - (4) ディカイオーマ 正しい行為
 - ① ルカ1:6「ふたりとも、神の御前に正しく、主のすべての戒めと定めを落ち度なく踏み行っていた」
 - ② ロマ2:26「もし割礼を受けていない人が律法の規定を守るなら、割礼を受けていなくても、割礼を受けている者とみなされないでしょうか」

- ③ ロマ 5 : 16 「また、賜物には、罪を犯したひとりによる場合と違った点があります。さばきの場合は、一つの違反のために罪に定められたのですが、恵みの場合は、多くの違反が義と認められるからです」
 - ④ ロマ 5 : 18 「こういうわけで、ちょうどひとりの違反によってすべての人が罪に定められたのと同様に、ひとりの義の行為によってすべての人が義と認められ、いのちを与えられるのです」
 - ⑤ ヘブ 9 : 1 「初めの契約にも礼拝の規定と地上の聖所とがありました」
 - ⑥ ヘブ 9 : 10 「それらは、ただ食物と飲み物と種々の洗いに関するもので、新しい秩序が立てられる時まで課せられた、からだに関する規定にすぎないからです」
 - ⑦ 黙 15 : 4 「あなたの正しいさばきが、明らかにされたからです」
 - ⑧ 黙 19 : 8 「花嫁は、光り輝く、きよい麻布の衣を着ることを許された。その麻布とは、聖徒たちの正しい行いである」
- (5) ディカイオーシス 無罪判決
- ① ロマ 4 : 25 「主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、私たちが義と認められるため、よみがえられたからです」
 - ② ロマ 5 : 18 「ひとりの義の行為によってすべての人が義と認められ、いのちを与えられるのです」

2. 「義認」は裁判用語（参照 マタ 12 : 37）、その中心的な意味は「無罪宣告」、それに連なって5つの意味を持っています

- (1) 無罪宣告ですから、罰を受けることはなくなりました（イザ 53 : 5~8、使 13 : 38~39、ロマ 4 : 7、8 : 1、33~34、II コリ 5 : 21、エペ 1 : 7、I ペテ 2 : 24）
- (2) 神のさばきとの関係での無罪宣告ですから、神との関係が回復し、神からの恩寵を受けることになりました（ガラ 2 : 16、3 : 26）
- (3) どのようにして無罪宣告が成立したのでしょうか。それは、信者の罪がメシアに転嫁され、メシアの義が信者に転嫁されたからです。信者は、イエス・キリストと同じ完全な義人とみなされます（I コリ 1 : 30、II コリ 5 : 21）
- (4) メシアの犠牲は1回限りで永遠の効力を持ちますから、過去・現在・未来のすべての罪が赦されました（詩 103 : 12、イザ 44 : 22、ヘブ 10 : 14）

- (5) 義認は、神の計画の一部です。無罪宣告と義の転嫁だけで終わるのではなく、信者の内側を神の子にふさわしく造り変えるプロセス（聖化）へとつながっていきます（ロマ 8 : 28~32）。

3. 「義認」はどのように起きるのでしょうか 7つ

- (1) 源は、神です（ロマ 3 : 26）
- (2) 基盤は、メシアの血です（ロマ 3 : 24~25、5 : 9）
- (3) 神が罪人を義認する原理は、恵みです（ロマ 3 : 24）
- (4) 義認を動かす主体は、聖霊です（I コリ 6 : 11）
- (5) 義認を受ける手段は、信仰です（ロマ 3 : 28、4 : 5、5 : 1）
- (6) 義認を受ける者の地位は、メシアにあってという地位です（II コリ 5 : 21）
- (7) 義認されたことの証明は、信者の行いです（ヤコブ 2 : 21、24~25）

4. 「義認」は信者にどのような結果をもたらすのでしょうか 7つ

- (1) 神との平和を持っています（ロマ 5 : 1）
- (2) 神の恩寵を受けます（ロマ 4 : 6）
- (3) さばかれることはありません（ロマ 8 : 1）
- (4) 相続権を持っています（テトス 3 : 7）
- (5) メシアの義を転嫁されています（ロマ 4 : 5）
- (6) 神の怒りから救われています（ロマ 1 : 17~18、ロマ 5 : 9、I テサ 1 : 10）
- (7) 栄光を受けることが保証されています（ロマ 8 : 30、ガラ 5 : 5）